

# ここが聞きたい 4人の議員が一般質問

一般  
質問

第3日目に一般質問が行われ、4人の議員が町政について質問しました。



江間田 信一 議員 (9ページ)

- ① 町政運営の責任者として二期目4年間の町長の基本的な考えとその決意について
- ② 第6次芳賀町振興計画「中期基本計画」の策定について
- ③ 子ども子育て支援について



中村 由美子 議員 (10ページ)

- ① 若い世代が住みたくなる魅力あるまちづくりについて
- ② とちぎ国体に向けての協力体制について



山口 菊一郎 議員 (11ページ)

- ① 芳賀町地域防災計画に基づく避難場所の整備方針について
- ② LRTと連携した交通網と観光誘致について



北條 勲 議員 (12ページ)

- ① 乳幼児液体ミルクについて
- ② 役場敷地の改修について
- ③ 海洋センターについて



## 一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以内とされています。

〈次回の定例会は12月3日からの予定です〉

みんなで議会を  
傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも  
放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から  
再放送 翌日の午後2時から





江間田信一が問う

## 二期目4年間の基本的な考えと決意について

**問** どのような姿勢で町政運営に取り組んでいくのかとその決意について伺う。

**答** 町長 一期目に掲げた、「躍動する芳賀の町を明るく未来につなげる」という町政運営の方針に変化はなく、基本構想に掲げた「5つのつなげる」については、これまでの取り組みを一歩進め、各施策の効果をさらに引き上げていきます。

具体的には、各施策を体系的にまとめ、中期基本計画として今年度中に策定します。2期目の決意は、町民誰もが安心して生活できる、住んでよかったと思える芳賀町を目指し、躍動感あふれるこの芳賀町を持続可能な町として将来につなげていくことです。

### 第6次芳賀町振興計画「中期基本計画」の策定について

**問** ①芳賀町は県内で最高の人口増加率となっているが、その一方で国立社会保障・人口問題研究所の推計結果により、今も多くの町民は人口が9000人になってしまつて不安視しているのが実態である。町から情報提供を行い、町民不安の解消と理解・対応について伺う。

②計画の中には「町民満足度調査」を実施するとあるが、町外から通勤して芳賀町に住まない理由の調査、いわゆる「芳賀町不満度調査」を実施し、町の課題が新たに別な角度から確認できると思うがいかがか。

**答** 町長 ①国の推計と町の現状に乖離が見られたので、国立

社会保障・人口問題研究所と同じ方法を用い、平成28年から平成30年までの移動率に置き換えて再算定をした結果、2040年の人口推定は1万4067人となり、第6次芳賀町振興計画に定める将来人口と大きな差異がなく、将来人口目標値を変更する必要がないことが確認できました。中期

基本計画策定の進捗状況にあわせて周知していきます。

②不満度調査については、芳賀町を客観的に捉えることができ、地方創生に向けた施策を検討するために有効であると考えますので、調査の実施を検討していきます。

### 子育て支援について

**問** 令和元年10月に国が実施する幼児教育・保育無償化に伴い、0歳から2歳児までの住民税課税世帯は制度対象外となることから、子どもを持つ世帯への負担軽減対策を講じる必要があるのではない

か。

**答** 町長 無償化の対象とならない満3歳未満で住民税課税世帯に対する負担軽減対策については従来から行っている2人目半額、3人目無償という多子世帯の減免を継続していきます。また、今回の無償化に伴い、保育料

に含まれていた副食費は実費徴収となります。これまで満3歳以上で3人目無償の減免を受けていた場合は、保護者負担が増えることとなりますので町としては国の政策により負担増とならないように、副食費の助成を行います。



▲祖母井保育園給食の様子



中村由美子が問う  
若い世代が住みたくなる  
魅力あるまちづくりについて

**問** 少子高齢化の中、LRTや工業団地

など大きな事業が進み、若い世代に住んでもらえる大きなチャンス。利便性や環境を考え、①小児科医の誘致、②デマンド交通の現状とミニバス等の検討、③

八ツ木の丘公園の整備と今後は。

**答** 町長 ①町民の要望が多いことは把握しているものの希望する医師がいないのが現状です。引き続き中期基本計画に位置付けていきます。

②現在デマンド交通は、高齢者を中心に身近な移動手段として定着し、芳賀赤十字病院の運行などニーズに応じた運行サービスの改善に取り組んでいます。ミニバス等については、LRT開通に伴い新たな公共交通の導入の取り

組みを進めているところです。

③今年4月に公園の管理が町となり、安全点検の結果、2基の遊具を撤去しました。今後入居者の状況などを把握しながら協議をしていきます。



▲使用禁止になった遊具（八ツ木の丘公園）

**問** 町内の医院やクリニック等に週に数

回専門医が来てもらえるよう、町として要望できないか。

**答** 町長 町の医療研究会に対応できる

かお願いしていきます。

とちぎ国体にむけての協力体制について

**問** とちぎ国体では公開競技がパワーリフティング、デモスポーツが婦人バレーボールに決定された。どのよ

うに盛り上げ実践していくか。第一・第二体育館の今後は。

**答** 教育長 公開競技は、開催準備や運営を競技団体協会が主体となり、町はそれに協力し、スポーツ振興促進のPRや観戦企画などを進めていきます。

デモスポーツは、関係団体と協議した上で決定していきたいと考えています。

芳賀町体育館（第二）は、築50年を迎え老朽化が進み、道路計画もあり、軽微な修繕で維持管理しています。施設の廃止、建てかえ等については検討してい

きます。第二体育館は、とちぎ国体で使用するため、適切な管理を行い安全・安心に利用できる施設として維持していきます。

他市町では、国体に向けて実行委員会を立ち上げている。

**問** 他市町では、国体に向けて実行委員会を立ち上げている。

芳賀町は全国から集まる方々におもてなしや協力体制をどう作っていくのか。

**答** 生涯学習課長 今年の茨城国体を視察し、方向性について検討したうえで関係団体と協議していきます。

**問** 県では今年、強化育成選手としてとちぎ国体にむけ793名、とちぎ大会に向け196名を認命した。

芳賀町の選手の把握は町としてどう応援していくのか。

**答** こども育成課長 小学生4名、中学生5名を把握しています。

**答** 生涯学習課長 町では、強化選手の手

支援制度はないため、広報誌や芳賀チャンネルで選手を紹介し、応援体制を整えたいと思っています。



▲とちぎ国体



山口菊一郎が問う

## 芳賀町地域防災計画に基づく避難場所の整備方針について

**問** 町内の指定避難場所11ヶ所の整備の

必要性判断と各施設の現状について、整備が必要と判断しているなら、整備計画について伺う。

**答** **町長** 指定避難場所それぞれの耐震

化や通信施設、非常用電源などの施設整備の現状や必要性、今後の整備計画について、芳賀町地域防災計画は災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、被害を最小化する「減災」を基本方針としており、町民の生命と財産を守ることが目的としています。指定避難場所の主な施設整備等は必要に応じ整備を行います。財政上の制約もある中、長期的視点により施設の整備計画と合わせ効果的に進めていきます。

また、避難場所の機能を補完できるような関係機関や企業との災害協定を締結しています。

**問** 指定避難場所の一つである生涯学習

センター水橋分館について、町は指定避難場所として、また地域に

おける町民の活動の場所として必要な施設であるとして、中期基本

計画策定において優先度や財政計画を考慮しながら方向性を見定めるとある。今年度と今後の方向性について予定や進捗状況を伺う。

**答** **教育長** 水橋分館は、各種講座、生

きがいサロン、総合検診等、昨年は年間6000人に利用されていますが、老朽化、耐震性に問題があります。今後の方向性を探るため、利用状況等情報を



▲生涯学習センター水橋分館

収集し分析を行ってきました。今年度、中期基本計画策定にあたり関係各部門の担当者による幹事会をスタートさせ、問題点の洗い出しや町民のニーズを加味し、施設の在り方を慎重に検討していきます。

## LRTと連携した交通網と観光誘致について

**問** ①工業団地内の循環バス、あるいは

町内への循環バスにつ

いての整備計画、方針

等について②観光誘客

に向けた町内観光名所

等への循環バス、レン

タサイクル等の整備、

また、案内ボランティア

の配置等の整備計画

方針について伺う。

**答** **町長** ①工業団地

内循環バスについ

ては平成28年5月に策

定した「芳賀町都市交

通マスタープラン及び

①工業団地内の循環バス、あるいは町内への循環バスについて

②観光誘客における町内観光名所へのアクセスや案内方法について

LRT開通に伴い観光客の増加が見込まれます。観光ルートの創造

やレンタサイクル等の二次交通整備が必要と

考えています。観光誘客を進めている先進事例を参考にLRTを核

とした観光振興の検討

を関係機関と進めていきます。



▲LRTポスター



北條勲が問う  
乳幼児液体ミルクについて

**問** 町に液体ミルクの備蓄と今後の計画

は。

**答** **町長** 液体ミルクの備蓄はありません。

町では自分の身は自分で守ることを基本として、約3日分の食料や水などを自ら備えるよう町民にお願いしています。

また、町内に液体ミルクを販売している医薬品店があります。災害時に乳幼児に必要な物資を提供していただけるよう災害協定の締結を進めます。



役場敷地の改修について

**問** 今回の役場は33年前に整備された。下記の3点を改修すれば使い勝手が良くなると思うが町の考えは。

①役場と情報館の間に横断歩道があり、渡るとき遠回りになるので縁石の撤去は。

②東側駐車場は毎年町民祭が開催され、近年では消防団の点検や操法大会にも使用され多目的駐車場にするため、

③税務課の南側駐車場に西側町道から直接入れるようには。

段差のある歩道の撤去は。

①役場敷地内に縁石を撤去しないで横断できるようにします。

②東側駐車場は単なる駐車場の利用以外に平成27年度からJRバスの役場敷地内乗り入れが開始され、歩行者と

③税務課南側の出入りは以前はありましたが、平成17年度に役場西側の町道拡張工事の際に、交差点での赤信号を回避して敷地内を通り抜ける車両を防ぐため塞いだ経緯があり、庁舎敷地内と交差点付近の

走した際に、子どもが足に怪我をする事故が発生。日本ウォータースライド安全協会が作成した「ウォーターズライドの運行維持管理・設計の手引き」において、一人ずつの滑走が推奨されていること

芳賀海洋センターについて

**問** 海洋センターのスライダーは身長120cm未満のお子さんは保護者同伴なら利用できたが、ルール改正後は保護者同伴でも利用できないが理由は。

走した際に、子どもが足に怪我をする事故が発生。日本ウォーターズライド安全協会が作成した「ウォーターズライドの運行維持管理・設計の手引き」において、一人ずつの滑走が推奨されていること

**答** **教育長** 平成26年に親子で一緒に滑

車両を明確に区分するためにも段差は安全上必要ですので撤去する必要はないと考えています。

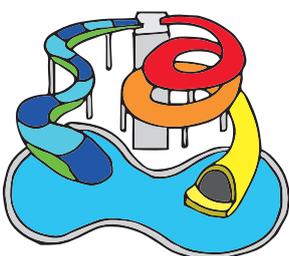


▲役場駐車場縁石

**答** **生涯学習課長** 文書は8月16日付けで確認しています。

とから、指定管理者の判断により、今年4月から2名以上での滑走を禁止しました。これにより、事故の発生を予防し、安全に施設を利用できる措置です。

**問** 利用者が不利になると思う。ルール改正文書の確認は。



とから、指定管理者の判断により、今年4月から2名以上での滑走を禁止しました。これにより、事故の発生を予防し、安全に施設を利用できる措置です。